

ごちゃまぜの地域作りを学ぶ ～アフガニスタン他の行政官ら14名、

2月6日(木)・7日(金) 佛子園・輪島 KABULET へ～

国際協力機構（JICA）では、開発途上国を対象とし、「地域活動としての知的・発達障害者支援」研修を実施しています。今年度は、アジア・南米等12か国から14名の行政官・NGO職員等がこの研修に参加しており、2月6日（木）と7日（金）に社会福祉法人佛子園を訪問します。

研修員は、日本における知的・発達障害者支援の状況や特徴についての講義や視察を通し、知的・発達障害者が非障害者と等しく人権を有し、適切な支援を受けることにより、社会参加が可能であることを学びます。そして、日本の研修の次に訪れるカンボジアでの研修において、自国のリソースを活用した、知的・発達障害者を支える活動計画を完成させます。

今回訪問する社会福祉法人佛子園は、1960年より障害福祉に取り組んでいます。障害児支援から始まったその活動は、ソーシャルインクルージョン＝「ごちゃまぜ」をコンセプトに、障害者、子ども、高齢者、地域住民が共にある町づくり事業へと広がっています。

この視察を通し、研修員は、いろいろな人たちがごちゃ混ぜとなって日常を送ることのできる町づくりの仕掛けと、町づくりの方法の多様さを学びます。この機会に、ぜひ取材をご検討ください。

日時	訪問先	内容	
2月6日（木）	10:00 - 12:00	三草二木 西園寺	施設型の町づくり説明・訪問
	13:00 - 14:00	美川37Work	駅活性化の町づくり説明・訪問
	14:30 - 16:30	行善寺	エリア型の町づくり説明・訪問
	16:30 - 17:30	B' s Home	グループホーム訪問
2月7日（金）	15:00 - 17:00	輪島 KABULET	タウン型の町づくり説明・訪問

【研修概要】

研修名：JICA 課題別研修「地域活動としての知的・発達障害者支援」

研修期間：2020年1月15日（水）から2020年2月22日（土）（日本）

2020年2月22日（土）から2020年2月29日（土）（カンボジア）

研修委託先機関：公益社団法人 日本発達障害連盟（JLDD）

参加国：アフガニスタン、アルゼンチン、コロンビア、モルディブ、モザンビーク、ネパール、ナイジェリア、パプアニューギニア、セルビア、ウズベキスタン、モンゴル、スリランカ（12か国、14名）

【問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構（JICA）東京センター 人間開発・計画調整課 菅野 直美、川津 詩乃

TEL 03-3485-7661 e-mail: Kanno.Naomi@jica.go.jp, Kawazu.Shino.3@jica.go.jp

※予定が変更になる場合があります。取材をご検討の際には、事前に上記連絡先までご一報いただければ幸いです。